

1 総 括

平成 28 年度は、第 1 期アクションプランの策定年度であったことから、アクションプランに沿って推進した実質的な取組はなかったところですが、アクションプランに定めるマネジメント方針に適合する個別施設の取組状況を整理すると下記のとおりとなります。

(1) 公共施設マネジメントの取組状況

(金額は千円未満四捨五入)

公共施設(建物)に係るマネジメント

◇公共施設(建物)延べ床面積の総量削減の取組

■使いやすさ、環境や防災への配慮など機能重視型の公共施設への転換

○図書館LED照明設備改修(9,111 千円)
○斎場待合室改修(5,389 千円)
○芦別中学校3線校舎教職員トイレ改修(9,245 千円)
計 23,745 千円

■規模の適正化や他施設との複合化等の検討を踏まえた大規模改修

○上芦別多目的センター外壁改修(18,684 千円)
計 18,684 千円

■老朽化が著しく使用に耐えない施設の計画的除却

○旧頼城売店除却(1,771 千円)
○カナディアンワールド公園倉庫(D型ハウス)除却(1,221 千円)
○旧西芦別小学校教員住宅除却(7,442 千円)
○旧上芦別共同浴場除却(1,836 千円)
計 12,270 千円

◇長寿命化の取組によるライフサイクルコスト削減の取組

■予防保全の取組による耐用年数の延長

○滝里湖オートキャンプ場コテージ等屋根塗装(4,212 千円)
○総合福祉センター屋上防水(8,100 千円)
計 12,312 千円

インフラに係るマネジメント

◇長寿命化によるコスト縮減と計画的・効率的な改修・更新の推進

■長寿命化によるコストの縮減

- 上芦別40線舗装補修(4,968千円)
- カナディアンロード線舗装補修(4,536千円)
- さつき通舗装補修(12,442千円)
- 見返橋改修(14,958千円)
- 道路施設点検業務委託(1,134千円)
- 道路路面性状調査業務委託(2,268千円)
- 下水道管路施設調査清掃業務委託(7,312千円)
- 下水道マンホール内ポンプ所保守点検業務委託(1,156千円)

計 51,798千円

■市民生活や経済活動が円滑に行えるインフラの維持

- 南1条2線道路改良(5,400千円)
- 北3条2線道路改良(9,558千円)
- 北2条東2丁目3線道路改良(8,424千円)
- 北4条1線道路改良(12,236千円)
- 北6条西線道路改良(10,746千円)
- 南2条東2丁目22線道路改良(23,436千円)
- 東1丁目1線道路改良(7,776千円)
- スターパークライン法面補修(3,888千円)
- 西1丁目3線道路改良(20,769千円)
- 上芦別5条線道路改良(15,390千円)
- 北6条西2丁目12線道路改良(9,990千円)
- 常磐新城線排水整備(3,024千円)
- 道道芦別赤平線配水管布設替(8,856千円)
- 道道旭川芦別線江村沢橋配水管布設替(3,014千円)
- 道道赤平芦別線下水道施設移設(1,166千円)

計 143,673千円

■橋りょう・上下水道の財政負担の平準化を目指した効率的な更新

- 三角橋架替実施設計業務委託(18,792千円)
- 芦別浄水場計装機器更新(5,400千円)
- 芦別浄水場薬品注入設備更新(9,806千円)
- 北4条西1丁目21線配水管布設替(5,670千円)
- 上芦別2条線配水管布設替(3,132千円)
- 上芦別くさぶえ5番線配水管布設替(4,784千円)
- 南大通配水管布設替(19,656千円)
- 国道38号配水管布設替(58,904千円)
- 上芦別工業団地2線配水管布設替(8,468千円)
- 南1条2線配水管布設替(3,305千円)

計 137,917千円

■人口減少を見据えた適切な投資規模のインフラ整備

- 双葉公園ほか遊具撤去(1,458千円)

計 1,458千円

(2) 公共施設の現状

ここでは、アクションプランにおいて定めた公共施設マネジメント方針の対象とした表1に示す平成27年度末現在の本市の保有する公共施設が、公共施設マネジメントの取組によって、どのように変化したのかを検証します。

表1 対象施設一覧

(1) 建物	大分類	中分類	施設数 (棟)	延べ床 面積(m ²)	主な施設
	①市民文化系施設	i 集会施設	11	4,686	各研修センター、生活館等
		ii 文化施設	2	3,624	市民会館等
	②社会教育・学校教育系施設	i 図書館	1	1,355	図書館
		ii 博物館等	3	2,246	星の降る里百年記念館等
		iii 学校	15	25,481	小中学校
		iv その他教育施設	1	810	学校給食センター
	③スポーツ・レクリエーション、公園施設	i スポーツ施設	10	13,383	青年センター、総合体育館等
		ii レクリエーション施設	15	3,088	各オートキャンプ場、道の駅等
		iii 保養施設	12	11,938	健民センター施設群等
		iv カナディアンワールド公園等	28	5,271	カナディアンワールド公園施設群等
	④子育て支援、保健・福祉系施設	i 幼保・子ども園	1	771	上芦別保育園
		ii 幼児・児童施設	2	2,622	子どもセンターつばさ等
		iii 高齢者福祉施設	6	5,439	総合福祉センター、静和荘等
		iv 保健施設	1	685	保健センター
		v 高齢者保健福祉施設	1	4,185	すばる
	⑤公営住宅	i 公営住宅	111	79,226	公営住宅15団地
		ii 改良住宅	134	45,517	改良住宅5団地
		iii 特定公共賃貸住宅	3	2,025	特定公共賃貸住宅1団地
	⑥病院施設	i 病院施設	1	12,574	市立病院
	⑦行政系、供給処理、その他施設	i 庁舎等	2	6,065	総合庁舎等
ii 消防庁舎等		7	3,468	新消防総合庁舎、分団詰所等	
iii その他行政系施設		3	1,968	車両センター等	
iv 供給処理施設		2	965	ごみ処理センター等	
v その他施設		45	7,709	斎場、教職員住宅等	
	合計		417	245,101	
(2) インフラ	大分類		主な施設と規模等		
	①道路	市道総延長333km			
	②橋りょう	橋りょう数77橋			
	③上水道	管路延長195km、取水・浄水施設3施設、配水池7施設			
	④下水道	管路延長122km、マンホール内ポンプ所14箇所			
	⑤公園	都市公園44箇所、普通公園15箇所			
	⑥その他	農業用水路2,840m、河川護岸			
(3) その他遊休施設などの普通財産等	旧小学校、旧保健センター等(50棟17,867㎡)				

※建物は、公共施設白書で把握した建物のうち、50㎡未満の建物を除き、新消防総合庁舎を含みます。

① 建物（その他遊休施設などの普通財産等を含む）

本市が保有する平成 28 年度末の公共施設（建物）は、建物総数が 463 棟で、延べ床面積の合計は 26 万 2,521 ㎡となっています。平成 27 年度末と比較すると、西芦別町地区の旧教職員住宅等の老朽化の著しい不用な施設を除却したことにより、4 棟 447 ㎡が減少しています。

また、用途別面積の状況は図 1 に示すとおり、公営住宅が 48.3%と総面積が最も大きく、次にスポーツ・レクリエーション、公園施設で 12.8%、3 番目に社会教育・学校教育系施設の 11.4%となっています。面積の広い用途区分上位 3 位は、前年度と変更はありません。

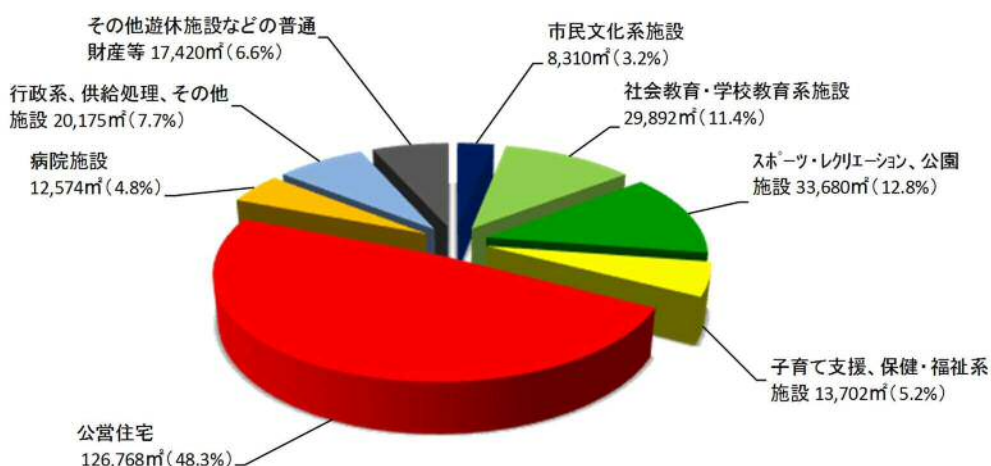


図 1 建物の用途別面積の状況【平成28年度末現在、50㎡以下の建物を除く】

次に、経過年数別の建物の状況は、表 2 に示すとおり、昭和 61 年度以前に建てられた築 30 年以上経過した建物が 333 棟で、延べ床面積は約 15.4 万㎡と全体の 58.7%を占めています。特に遊休施設などの普通財産等を除く、現状、市民利用に供している公共施設においては、築 30 年以上経過した建物は、延べ床面積で約 14.8 万㎡、60.4%に上っています。

平成 28 年度においては、築 30 年以上経過した旧教職員住宅等 4 棟あわせて 447 ㎡の建物を除却しましたが、保有する建物全体の 0.1%あまりに過ぎず、築 30 年以上経過した建物は、アクションプランの表 2 で示している前々年度末数値 147,186 ㎡と比較すると、面積で 6,959 ㎡の増加、比率では前年度の 56.4%から 2.3 ポイント上昇しており、建物全体の老朽化の度が高まっています。

また、築 20 年以上 30 年未満の建物は、延べ床面積で約 6.1 万㎡、全体の 23.2%を占めており、現状のまま経過すると今後 10 年間で築 30 年を超える建物は、延べ床面積が約 21.5 万㎡で、全体に占める割合は 81.9%に上ることとなります。

なお、市民一人当たりの建物延べ床面積の推移は表 3 に示すとおりで、平成 26 年度末の合計値は 17.14 ㎡/人ですが、平成 27 年度末は 17.81 ㎡/人と 0.67 ポイント増加しており、平成 28 年度末は 18.37 ㎡/人で、前年度に比べ 0.56 ポイント増加しています。このことは、平成 27 年度に新消防総合庁舎が完成したことによる建物床面積の増加もありますが、総じて人口減少が進んでいることによる影響が大きいものと考えられます。

表2 経過年数別建物の状況

(単位:棟、㎡、%)

区分	経過年数 (建設年度)		10年未満 (H19~28)		10年以上 20年未満 (H9~18)		20年以上 30年未満 (S62~H8)		30年以上 (~S61)		合計	
	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積
①市民文化系施設							3	1,430	10	6,880	13	8,310
i 集会施設							3	1,430	8	3,256	11	4,686
ii 文化施設									2	3,624	2	3,624
②社会教育・学校教育系施設							2	3,827	18	26,065	20	29,892
i 図書館									1	1,355	1	1,355
ii 博物館等							1	1,499	2	747	3	2,246
iii 学校							1	2,328	14	23,153	15	25,481
iv その他教育施設									1	810	1	810
③スポーツ・レクリエーション、公園施設	1	219	15	9,452	33	13,300	16	10,709	65	33,680	65	33,680
i スポーツ施設					5	8,324	2	254	3	4,805	10	13,383
ii レクリエーション施設					9	841	2	1,241	4	1,006	15	3,088
iii 保養施設	1	219	1	287	4	6,688	6	4,744	12	11,938	12	11,938
iv カタニアンワールド公園等							25	5,117	3	154	28	5,271
④子育て支援・保健・福祉系施設					3	6,807	1	1,449	7	5,446	11	13,702
i 幼保・子ども園									1	771	1	771
ii 幼児・児童施設					2	2,622					2	2,622
iii 高齢者福祉施設							1	1,449	5	3,990	6	5,439
iii 保健施設									1	685	1	685
iv 高齢者保健福祉施設					1	4,185					1	4,185
⑤公営住宅	14	11,497	10	15,710	15	13,578	209	85,983	248	126,768	248	126,768
i 公営住宅	14	11,497	9	15,035	13	12,228	75	40,466	111	79,226	111	79,226
ii 改良住宅									134	45,517	134	45,517
iii 特定公共賃貸住宅					1	675	2	1,350			3	2,025
⑥病院施設							1	12,574			1	12,574
⑦行政系、供給処理、その他施設	5	2,793	4	888	9	3,663	41	12,831	59	20,175	59	20,175
i 庁舎等									2	6,065	2	6,065
ii 消防庁舎等	1	2,363							6	1,105	7	3,468
iii その他行政系施設							1	1,458	2	510	3	1,968
iv 供給処理施設					1	591	1	374			2	965
v その他施設	4	430	3	297	7	1,831	31	5,151	45	7,709	45	7,709
合計	20	14,509	32	32,857	64	49,821	301	147,914	417	245,101	417	245,101
構成比	4.8	5.9	7.7	13.4	15.4	20.3	72.2	60.4	100.0	100.0	100.0	100.0
その他遊休施設などの普通財産等							14	11,189	32	6,231	46	17,420
i 遊休施設							3	6,000			3	6,000
ii 貸付施設							10	4,788	19	4,061	29	8,849
iii 除却施設									10	1,323	10	1,323
iv その他維持する施設							1	401	3	847	4	1,248
構成比	0.0	0.0	0.0	0.0	30.4	64.2	69.6	35.8	100.0	100.0	100.0	100.0
合計	20	14,509	32	32,857	78	61,010	333	154,145	463	262,521	463	262,521
構成比	4.3	5.5	6.9	12.5	16.9	23.2	71.9	58.7	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 平成28年度末現在。50㎡未満の建物を除く。

表3 市民一人当たり建物延べ床面積の推移

区分 年度	年度末 人口 (人)	述べ床面積(㎡)			市民1人当たり面積(㎡/人)		
		公共施設	遊休施設等 の普通財産	合計	公共施設	遊休施設等 の普通財産	合計
平成26年度	15,208	242,738	17,867	260,605	15.96	1.18	17.14
平成27年度	14,769	245,101	17,867	262,968	16.60	1.21	17.81
平成28年度	14,288	245,101	17,420	262,521	17.15	1.22	18.37

② インフラ

本市が管理する平成 28 年度末におけるインフラの状況について、アクションプラン策定時に用いた平成 26 年度末の数値と比較することにより、アクションプランに基づく取組について検証することとします。

道路については、表 4 に示すとおりで、一般道の延長が約 331 k m、面積は約 230.3 万㎡となっており、前々年度末と比較すると延長で 1.8 k m、面積で約 3 千㎡の減少となっています。これは市道の改良が進められた一方、使用されていないなど管理の必要がない路線を廃止したことによるものです。

なお、自転車歩行者道については、延長及び面積に増減は生じていません。

表4 道路の現状

区分		延長(m)	面積(㎡)
一般道	1級市道	70,251	610,364
	2級市道	81,591	596,942
	その他の市道	179,141	1,095,584
	合計	330,983	2,302,890
自転車歩行者道		1,620	6,201

橋りょうについては、表 5 のとおりで総数は 77 橋で、総数は前々年度と変わりませんが、建設後 50 年を経過した老朽化橋りょうが 5 橋から 11 橋に増え、全体の 14.3% を占めています。一方で、常磐町地区の三角橋の架け替えに向け実施設計を行ったほか、見返橋の伸縮装置の取替えなど老朽化した橋りょうの安全確保の取組も進められています。

表5 規模別・経過年数別橋りょうの現状

(単位:橋)

区分	経過年数						計
	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上 50年未満	50年以上 60年未満	
5m未満	2	1		4	4	2	13
5～15m未満	1	4	5	5	5	3	23
15m以上		6	10	9	10	6	41
合計	3	11	15	18	19	11	77

上水道については、表 6 に示すとおりで、導水管、送水管及び配水管を合わせた延べ延長は約 195 k m で、前々年度と比較すると 80 数 m 増加しています。また、総延長 195 k m のうち、法定耐用年数の 40 年に対して 30 年以上経過している管路の割合は 31.3% で、前々年度と同じです。しかし、このうち 40 年以上経過した管路の延長は前々年度の 9.15% から 11.47% と 2.55 ポイント上昇しています。

また、管路以外の芦別浄水場や上芦別配水池、新城滅菌池及び配水地についても、老朽化が進んでいますが、適切な維持管理と計画的な設備の更新などにより、安定した上水の供給を維持しています。

下水道については、污水管が約 114 k m、雨水管が約 8 k m、マンホール内ポンプ所が 14 箇所であり、施設設備については、前々年度と比較して増減は生じていません。また、管路施設の調査、清掃業務を委託するなど、適切な維持管理に努めています。

表6 上水道施設の現状

○管路 (単位:m)

管路	区分	経過年数別の管路延長					合計
		10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上	
導水管	芦別浄水場			27.00	53.40		80.40
	西芦別浄水場		121.50	118.30			239.80
	新城取水塔			554.06		1,488.94	2,043.00
送水管	上芦別配水池					2,741.00	2,741.00
	旭配水池			3,495.65			3,495.65
	西芦別配水池			335.00			335.00
	新城配水池			1,122.00		378.00	1,500.00
配水管	上芦別配水区	19,077.40	26,622.38	40,627.29	38,070.93	16,504.37	140,902.37
	旭配水区	2,191.24	1,241.51	7,265.26	29.00		10,727.01
	西芦別配水区	1,068.14	9,166.41	20,067.16			30,301.71
	新城配水区	837.02	34.54	158.50	577.29	1,278.15	2,885.50
合計		23,173.80	37,186.34	73,770.22	38,730.62	22,390.46	195,251.44
構成比		11.87%	19.04%	37.78%	19.84%	11.47%	100.00%

○施設

施設名	規模・能力	建設年	経過年数	施設名	規模・能力	建設年	経過年数
芦別浄水場	10,000m ³	S48年	44年	旭配水池 No.2	200m ³	H18年	10年
上芦別配水池 No.1	700m ³	S32年	60年	西芦別浄水場	2,094m ³	H11年	17年
上芦別配水池 No.2	1,200m ³	S32年	60年	西芦別配水池	1,200m ³	H11年	17年
上芦別配水池 No.3	1,600m ³	S48年	44年	新城滅菌池	3m ³	S45年	47年
旭配水池 No.1	320m ³	H3年	25年	新城配水池	77m ³	S45年	47年

公園については、表7のとおり、都市公園が44箇所、普通公園が15箇所（うち上芦別公園が重複）の合計で59箇所あり、前々年度と変更はありませんが、そのうち供用開始後30年以上経過した公園数は全体の67.8%を超えており、前々年度の64.4%から3.4ポイント上昇しており、30年以上経過した公園の面積は約78万3千m²で、全体の50.7%を占めています。

公園は、利用者の安全を確保するため、適切な維持管理と点検に努めるほか、利用者の少ない公園の老朽化した遊具の撤去など利用実態にあわせた見直しを進めています。

表7 公園の現状

(単位:箇所、m²、%)

区分	箇所数	面積	経過年数										
			10年未満		10年以上 20年未満		20年以上 30年未満		30年以上 40年未満		40年以上		
			箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	
都市公園	街区公園	37	119,460			3	7,665	6	14,185	16	52,130	12	45,480
	近隣公園	4	56,586			1	11,922	2	31,808	1	12,856		
	運動公園	1	212,499			1	212,499						
	風致公園	1	49,622									1	49,622
	総合公園	1	206,390									1	206,390
	計	44	644,557			5	232,086	8	45,993	17	64,986	14	301,492
普通公園	15	899,514			3	464,242	3	18,906	3	36,982	6	379,384	
合計	59	1,544,071			8	696,328	11	64,899	20	101,968	20	680,876	
構成比					13.6	45.1	18.6	4.2	33.9	6.6	33.9	44.1	

このほかのインフラとして、農業用水路の芦別北部かんがい施設がありますが、前々年度との変更は生じていません。